



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 株式会社 朝日ラバー

上場取引所 東

コード番号 5162 URL <http://www.asahi-rubber.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田崎 益次

TEL 048-650-6051

四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,555	16.7	435	22.4	454	18.5	315	13.5
29年3月期第3四半期	4,759	8.9	355	193.5	383	216.4	278	222.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 398百万円 (74.4%) 29年3月期第3四半期 228百万円 (168.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	70.16	
29年3月期第3四半期	62.11	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	10,398	4,193	40.3	929.78
29年3月期	9,914	3,869	39.0	860.48

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,193百万円 29年3月期 3,869百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		3.00		13.00	16.00
30年3月期		6.00			
30年3月期(予想)				10.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,321	12.4	539	13.3	533	8.7	372	9.0	82.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	4,618,520 株	29年3月期	4,618,520 株
30年3月期3Q	108,772 株	29年3月期	122,172 株
30年3月期3Q	4,503,492 株	29年3月期3Q	4,483,146 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想値に関する事項は添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する注記 .....	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
3. 四半期連結財務及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当社グループは、2020年を見据えたビジョン「AR-2020 VISION」を策定し、平成29年4月から第12次中期経営計画「V-2計画」をスタートしております。中期経営方針として「AR-2020 VISIONに通ずる質的成長を求めて広く社会に貢献する」を掲げ、継続的な成長を可能にする強固な事業基盤を整備し、ゴムの基礎技術と製品力を磨いて質的な成長を目指しております。

重点事業分野を車載・照明、医療・ライフサイエンス、その他の3つとし、車載・照明分野では感性認知支援領域における製品開発に注力し、そして医療・ライフサイエンス分野ではウェアラブル領域における製品開発を順調に進めております。これからも引き続きゴムの持つ可能性を追求し、それぞれの競争力の源泉となる他社に真似のできない独自のコア技術を磨き、市場やお客様に満足いただける製品開発を推進してまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は55億5千5百万円（前年同四半期比16.7%増）となりました。利益面では、販売の増加、原価低減活動の継続実施等により連結営業利益は4億3千5百万円（前年同四半期比22.4%増）、連結経常利益は4億5千4百万円（前年同四半期比18.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億1千5百万円（前年同四半期比13.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

#### 工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、自動車関連製品の受注が海外向けを中心に引き続き好調に推移いたしました。中でも、自動車内装照明用のASA COLOR LEDは、当初予測を上回る受注により、生産能力増強を含めた対応を実施しております。また、スポーツ用ゴム製品である卓球ラケット用ラバー、RFIDタグ用ゴム製品も引き続き受注が好調に推移いたしました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は46億6千1百万円（前年同四半期比21.6%増）となりました。またセグメント利益は5億2千万円（前年同四半期比45.2%増）となりました。

#### 医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、採血用・薬液混注用ゴム栓において、新旧製品の入れ替え時期に相当し、既存品の受注減少により販売が減少いたしました。また、プレフィルドシリンジガasketにおいて、設計変更対応のため、同じく販売が減少いたしました。どちらも計画に沿って着実に対応をすることにより販売回復を見込むものであります。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は8億9千3百万円（前年同四半期比3.6%減）となりました。セグメント利益は1億4千6百万円（前年同四半期比24.5%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて4億8千4百万円増加し、103億9千8百万円となりました。その主な要因は、仕掛品、機械装置及び運搬具、投資その他の資産その他の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて1億6千万円増加し、62億5百万円となりました。その主な要因は、電子記録債務、一年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて3億2千4百万円増加し、41億9千3百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年11月8日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,982,419	2,967,226
受取手形及び売掛金	1,732,717	1,635,970
電子記録債権	128,044	236,035
商品及び製品	198,535	246,492
仕掛品	286,643	386,164
原材料及び貯蔵品	125,290	128,762
その他	185,551	140,880
貸倒引当金	△1,795	△1,721
流動資産合計	5,637,406	5,739,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,252,138	1,218,560
機械装置及び運搬具(純額)	1,139,207	1,222,317
土地	886,216	886,216
その他(純額)	174,696	187,664
有形固定資産合計	3,452,259	3,514,758
無形固定資産	36,335	95,938
投資その他の資産		
その他	791,688	1,051,343
貸倒引当金	△3,422	△3,422
投資その他の資産合計	788,266	1,047,921
固定資産合計	4,276,862	4,658,619
資産合計	9,914,268	10,398,429
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	488,584	439,302
電子記録債務	779,512	942,804
短期借入金	303,687	—
1年内返済予定の長期借入金	1,074,531	1,127,250
未払法人税等	68,363	108,834
その他	491,346	630,010
流動負債合計	3,206,025	3,248,202
固定負債		
長期借入金	2,136,351	2,229,341
役員退職慰労引当金	91,722	91,722
退職給付に係る負債	577,528	610,885
その他	33,623	25,220
固定負債合計	2,839,225	2,957,169
負債合計	6,045,250	6,205,371

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	457,970	457,970
利益剰余金	2,770,284	2,999,849
自己株式	△92,543	△80,309
株主資本合計	3,652,581	3,894,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150,647	233,008
為替換算調整勘定	65,789	65,669
その他の包括利益累計額合計	216,436	298,678
純資産合計	3,869,017	4,193,057
負債純資産合計	9,914,268	10,398,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,759,681	5,555,475
売上原価	3,470,028	4,123,365
売上総利益	1,289,653	1,432,109
販売費及び一般管理費	934,085	996,923
営業利益	355,568	435,185
営業外収益		
受取利息	1,197	1,836
受取配当金	6,240	6,726
作業くず売却益	1,206	7,460
雑収入	38,961	17,709
営業外収益合計	47,605	33,733
営業外費用		
支払利息	10,848	9,426
コミットメントフィー	5,664	3,069
雑支出	2,689	1,524
営業外費用合計	19,201	14,021
経常利益	383,972	454,898
特別利益		
補助金収入	16,050	95,800
特別利益合計	16,050	95,800
特別損失		
固定資産除却損	9,548	21,437
固定資産圧縮損	14,470	63,672
減損損失	—	14,451
投資有価証券売却損	—	458
特別損失合計	24,019	100,020
税金等調整前四半期純利益	376,002	450,677
法人税等	97,562	134,709
四半期純利益	278,439	315,967
親会社株主に帰属する四半期純利益	278,439	315,967

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	278,439	315,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,316	82,361
為替換算調整勘定	△109,372	△120
その他の包括利益合計	△50,056	82,241
四半期包括利益	228,383	398,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	228,383	398,209



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,832,673	927,007	4,759,681
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,832,673	927,007	4,759,681
セグメント利益	358,753	193,654	552,407

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	552,407
全社費用(注)	△196,839
四半期連結損益計算書の営業利益	355,568

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,661,514	893,960	5,555,475
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	4,661,514	893,960	5,555,475
セグメント利益	520,996	146,199	667,196

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	667,196
全社費用(注)	△232,010
四半期連結損益計算書の営業利益	435,185

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。